



平成28年9月2日14時 資料配付

配布先
神戸海運記者クラブ

この件に関するお問い合わせ先
神戸運輸監理部 海上安全環境部 外国船舶監督官
担当：稲満、稲垣
(電話) 078-321-7061

マレーシア、スーダンの海上安全に貢献！

～神戸港で海外のPSC検査官の船上訓練を実施～

神戸運輸監理部では寄港する外国船が安全に関する国際条約を遵守しているかを確認する立入り検査（PSC）を行っています。今回、国際協力の一環として、9月5日から9月14日まで海外のPSC検査官2名（マレーシア及びスーダン）を神戸運輸監理部に受け入れ、当監理部の外国船舶監督官が指導してPSC検査の船上訓練を行います。

1. PSCとは

船舶は、国境を超え世界中を航海するため、国際的に統一された安全基準が種々の国際条約で定められています。国際条約では、船舶の登録国（旗国）に船舶の安全に関する検査を実施する義務がありますが、旗国の船舶管理能力不足、船員の技術・経験不足等を背景に国際基準を満足していない船舶（サブ・スタンダード船）が出現し、海難事故発生リスクを高めています。

このような状況を改善するため、寄港する外国船が国際条約を遵守しているかを確認する立入り検査がポート・ステート・コントロール（Port State Control 略称：PSC）です。PSCを実施するPSC検査官（外国船舶監督官）は、寄港する外国船が国際条約で定めた安全基準等を守っているかを監視する「見張り役」のような存在です。

2. PSCの国際協力体制

船舶は、世界各国の港を移動するため、一ヶ国でPSCを強化しても、サブ・スタンダード船は、他の国へ寄港を続けるため、効果的なPSCとはなりません。

国際的に調和がとれ、効果的なPSCを実施するため、アジア・太平洋地域、欧州、ラテンアメリカ、インド洋等、地域ごとに協力体制が構築されています。アジア・太平洋地域については公益財団法人東京エムオウユウ事務局がアジア太平

洋地域で結ばれている「PSC の地域協力に関する合意（東京 MOU）」に基づき活動しており、各国の PSC 検査官の知識・技術の向上と標準化を図るための研修や PSC 検査官の相互派遣等を行っています。

3. 神戸での船上訓練

神戸運輸監理部では、東京 MOU 事務局設立（1994 年 3 月）当初から講師派遣や研修生受入等の支援を行っています。船上訓練は、東京 MOU 主催の研修（一般訓練コース、8 月 22 日～9 月 16 日）の一部として実施するもので、横浜で 2 週間の国際条約などの座学研修を受けた後、全国 10 か所の地方運輸局等で行われます。

今年の研修には海外から 21 人の PSC 検査官が参加しており、神戸ではマレーシア、スーダンからの PSC 検査官 2 名に船上訓練を実施します。

（過去の訓練の様子）



取材について

9 月 8 日に、研修の様子を 1 時間程度ご覧いただけます。

外国船に立ち入るため乗船手続きが必要となりますので、取材を希望される場合は 9 月 6 日までに担当者にご連絡下さい。

日時：9 月 8 日

09：30 神戸運輸監理部 出発

10：00 頃 乗船 ～1 時間程度船上訓練を見学～

11：00 頃 下船

11：30 頃 神戸運輸監理部 帰着

（時間が前後する可能性があります。）